

議会改革推進特別委員会分科会会議録

(議員定数の適正化に関する事項)

1. 日 時 平成26年9月10日(水曜日)  
午前9時58分～午前10時27分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 下井克己 座長 荒山光広 委員長  
竹岡昌治 委員 徳並伍朗 委員  
岩本明央 委員 萬代泰生 委員  
高木法生 委員 馬屋原眞一 委員  
秋山哲朗 議長
4. 欠席委員  
俵 薫 委員
5. 出席した事務局職員  
石田淳司 議会事務局長 大塚 享 議会事務局係長  
野尻登志枝 議会事務局企画員
6. 説明のため出席した者の職氏名  
なし
7. 会議の次第は次のとおりである

午前9時58分 開会

○座長（下井克己君） 皆さんおはようございます。それでは、これより議会改革推進特別委員会議会定数の適正に関する事項の分科会を始めたいと思います。よろしくお願いたします。私今回の分科会の座長に任命されました下井と申します。よろしくお願いたします。

まず、資料の確認をしたいと思います。皆様の机上にまず、山口県内13市一覧表1枚ものです。それから、人口規模類似自治体一覧表、これ5ページもんです。そして、最後に類似市との比較ということでこれ4枚ものですが、皆さんございますでしょうか。言い遅れましたが、本日俵委員は病欠により欠席の報告が入っておりますのでお知らせしておきます。

それでは、資料の説明なんです、この一番最後に申しました類似市との比較ということで、竹岡委員さんにちょっと御苦勞願いましたので、申し訳ございませんが説明をお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員（竹岡昌治君） それでは、一応用意をさせていただきましたので、資料の説明をさせていただきます。

まず、この比較をするに当たりまして使った資料は、行政が出す決算報告書、こういうワンペーパーものがあるんですね。それに歳出や歳入、それから、人口とかいろいろんなものが凝縮して書かれております。それを参考にした数字ということで、御理解いただきたいと思います。そこで、これは一応、26年の7月につくったということで、財政規模等につきましては、歳出総額を一応やっております。歳入じゃなくて歳出総額を基準にしました。

それから、人口は今年の6月現在、当然面積もそうなんです、そういう形で作りました。4月につくったんでこういう形になっております。

まず、1枚目は全国の類似市町村、美祢市が19名ということでの当てはめていきますと、大体、財政規模も18.1、面積が17.8、人口規模で16.1ということで、大体平均的に美祢市とあまり大差がないというものを比較を一応してみました。そうしますと、美祢市が入れてあります。美祢市よりは大きいところは岡山県の美作市、ここがちょっと大きな、それから、伊豆市。ただ人口的にどうなのか、面積的にどうなのかというのを見ていただいたら、大体平均的なものをここに載せております。これはあまり参考にならないです。一応類似市町村の状況を見るという程度にしてい

ただきたいと思うんですが。

2枚目が山口県各市との比較、これは県内の市です。これを一応やってみましたら、ちょっとできたら美祢市のところの色が抜けてますので、色を入れていただいたらよく分かると思います。

歳出につきましても、いずれにしましても人口的に見ても19人の議員が1人当たりどの程度の財政規模を持ってるかということで、美祢市は——これ単位が円でございますから、これ人口当たりですね。1人当たりの人口70万5,756円というものに対して、他市がどういう状況かというのをここに載せているだけです。

財政規模は、一応美祢市は、議員1人当たりになおしますと9億9,883万円という形になりますよと。これ美祢市の現行割合ですね。面積的には24.9km<sup>2</sup>、人口が議員1人当たりにしたら1,415人、県下で一番少ない人数を担っておると。こういう形で見たいと思うんですね。これを、じゃ、現状がどういうふうに県内でしていったら均衡が取れるのかと。極論を申し上げます。一番最後のページを見ていただいたら、これは極論です。もし議員を14名にしたとしたらどうなるんかと。この表は議員数を14名、15名、16、17、18と。で、一番最初に説明したのは19名の現状ですね。14名にしたら、じゃあ一体どうなるのかと言うと、美祢市は、人口は1人の議員さん当たり14名にしたら、1,921人。そうすると、柳井市が1,887、それから、萩市が1,999。そうすると、大体、柳井、萩、それから、長門市、大体、長門や萩や柳井と同じようなレベルになると。人口的に見ればですね。ところが、人口的に見ても面積も広いからという論理もあろうと思うんで、一応面積的にも一応見ました。そうしますと、美祢市は33.8ですから、これまた断トツに1人の議員さんが大きな面積を担うと。それから、もう一つは、財政的には13億5,555万6,000円ですから、柳井市は9億1,684万円、小野田市が11億4,500ということで、大体中間、美祢市が県内で中間どころになるということになります。人口的に見れば、美祢市がけつから2番目——済みません、ワースト1と書いてありますけれど——違うんです。途中から数字が変わったんで、議員数が変わったのが分かりましたんで、いらったから、欄外は古い資料です。いずれにしても、人口的に見たら美祢市は県内でもワースト2という形になります。

それから、財政的に見ますと中間どころになります。14人にしたらですよ。それから、面積的に見ればこれは断トツです。広い面積を担うという形になります。

それを今度そういう見方で15、16、17と表が組んであります。例えば15人にしたら、美祢市が6番目になる。13市ですからちょうど中間、15人でちょうど中間ということになるろうと思います。

それから、面積的には結構これも中間どころよりちょっと下ということになるろうと思います。いずれにしても、面積的には何人にしようと、ちょっと断トツに太いんで、今度は人口密度の問題もあるでしょうから、一概に山や野原を面積に入れるかどうかというのは別ですが、一応そういう形で14、15、16という形でやらせていただきました。

そこで、これを見られたら大体お分かりだと思うんですが、15ないし16へんが一番、県下からすれば、面積以外は人口規模、それから、財政規模からすれば中間ちょっと以下という程度でおさめられるんじゃないかなと、こういうことで一応資料は先ほど冒頭に申しあげましたように、決算統計を基にやらさせていただきました。以上簡単ですが、いいですか。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございます。事務局のほうからこれ説明してもらってもよろしいですか。一応簡単にですが。

○議会事務局長（石田淳司君） それでは、私のほうから山口県内13市一覧表ということでお配りをしておりますので、そのことについて御説明をしたいと思います。

左側から市名が記載がしてあります。県内13市の市名でございまして、人口、それから、議員定数ということで、これは、今年の12月末日現在の数字であります。議員定数につきまして、その右側になります。定数改正時期ということで、議員定数の数字がいつ制定されたかという期日が記載がしてあります。その右側になります。24年度の財政力指数、それと、標準財政規模ということで、それぞれの数字を記載をしております。

それから、その右側になります。各市の面積、それから、一番右側の一覧になります。議員の報酬ということで、それぞれ議長、副議長、議員ということで、掲載をしております。

それから、5枚もののホッチキス止めのものがもう一部あるかと思います。これにつきましては、人口規模類似自治体一覧表ということで、全国の美祢市と同じぐらいの議員定数、今美祢市は議員定数19でございまして、その数字に近いところを、ピックアップしたものでございます。議員定数、それから、制定の時期、24年度の

財政力指数等は先ほど御説明したとおりでございます。

以上です。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございました。それでは、これより皆様方の御意見を今の資料を見られただけで、どこまで言えるかどうか分かりませんが、言っただけかどうか分かりませんが、皆様方の個人的な御意見でいいので、言っただければと思うんですが。順番にいきましょうか。馬屋原委員よろしいですか。

○委員（馬屋原眞一君） 今急にもらったわけですけども。これぱっと見ますと、人口ではどこまでいってもあんまり意味をなさないというのがよく分かりました。従いまして、面積と財政規模ということに焦点をもっていかないと、議論にならないなというふうに感想を持ちました。美祢市の今の状況からすると、どうしても面積が広いところがあるんで、どうしてもそれなりの人数がいるだろうというふうには思います。しかし、財政規模を見ますと、人数はこれ見ると、15から16にせんにゃ、どうもバランスが悪いなという一応の感想を持ちました。今から、いろんな議論をする中で、何がいいか分かりませんが、今段階では15、16辺りが、ぱっと見ですが、そういう感想を今のところ持っております。

以上です。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございました。次、萬代委員お願いします。

○委員（萬代泰生君） この表の中で13市の一覧表の中で、議員定数が美祢市よりも少ないところが3市あります。美祢市が4番目になってるわけですが、美祢市の人口からして、この13市の中の最低レベルの位置を確保したらいいんじゃないかという考え方持ってます。それはなぜかという、非常に面積が広いわけですね。そして、市のほうの行政改革等で、市の職員等もどんどん減ってってます。そういったことで、地域の人々の声が段々あがりにくくなっているんじゃないかというふうに思ってます。

そういった意味で、ただ定数をずっと下げればいいということではなくて、美祢市の実態から考えて、市民の声を少しでも議会に反映させるためにも、14市の中じゃ、最低レベルの議員定数におさめるべきじゃないかというふうな考え方持ってます。

以上です。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございました。徳並委員、お願いします。

○委員（徳並伍朗君） 面積規模というところもありましようけれど、財政力指数を見

ましたら、これ過去3年の平均だろうと思っておるわけですが、ワースト2ぐらいでありますので、これ財政力指数は大変重要な数字でございますから、もう少しこれを考えると、15、6ぐらいにしたほうがいいんじゃないかなと思っております。

以上。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございます。高木議員よろしいですか。

○委員（高木法生君） しっかりした資料が揃っておりますので、いろいろ討論しやすいんですけど。今いろいろ意見も出ました。しかしながら、近隣の市を参考にしながら、いくべきじゃなからうかと思っています。人口にプラス面積を加味したものが、一番適當ではないかと自分では思っております。何人ということになると、いろいろ難しい面がございますけれども、一応17から16程度を考えてみたらという考えはもっております。

以上です。

○座長（下井克己君） お願いします。

○委員（岩本明央君） 今資料を見せていただきまして、県内、それから、全国的なものを二、三こう見てみますと、全国的な規模で2ページ目の石川県のかの有名な輪島市。それから、先般研修に行きました36の山梨県の甲州市。それから、次の、3ページ目の一番下、これ隣の県の広島県の安芸高田市、その辺を大変特に広島県の36の安芸高田市なんか良く似ておるところもあります。私まだよう分からんのは、財政力指数と議員定数との関係がどういう意味があるんですかね。私あんまりよう分からんのやけど。私に言わせてもらえば、あんまりないと思うんですけど。後、報酬見ても山口県では議長さん始め全部一番最低ですよ。その辺の財政力指数と議員定数とはあんまり関係ないし、先般の野村先生のお話の中にも議員定数を減らすことが全てじゃないよと。いろいろ市民の方おっしゃるかもしれんけど、過疎市なんかの場合には、ある程度吸い上げてもらわんにゃ、いろいろ要望も聞いてもらえんとかいうのもありますし。ある資料を読みますと、人口とか面積とか一般会計の予算額とか、美祿市道の総キロ数とか公立高校の数とか、いろいろ国からの補助金の関係もありますが、そういう数字のいろいろな意味で、参考にするべきじゃないかということも書いてありました。それで、私の感想では今竹岡さんが言われたような数字もありますが、今の19からちょっとぐらい減るような数字が適當ではないかと。こういうふうな印象で私はきょうとりあえずの資料では、そのように考えております。

以上です。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございます。竹岡委員も一言、お願いします。

○委員（竹岡昌治君） 今、岩本委員言われたように、財政力指数が関係あるかと、やっぱり、ないとは言えないんですね。議員を減らせば、それほど議会費は落ちるわけですから、ないとは申しません。ただ、そうは言っても、昔から北浦三市、北浦三市とって、萩、長門、美祢が取り組んできてるわけですが、向こう3件両隣を見れば、長門も18、萩は26ということなんですが、それでも、さっき広い面積だからとおっしゃったんですが、人口密度は、何ページ目やったですか、美祢市を16にした場合というところの、一番右側に人口密度を一応参考までに入れておったんです。あそこ紙面があいてましたから、あそこに入れてあります。そうすると、美祢市はもの凄く断トツなんですね、やっぱり。だから、山、野原が多いということでしょう。1人当たりの面積が凄く広いと。下松とか宇部なんかは非常に効率がいいですよ。あるいは、防府だとか。それは、都市部が、山が少ないということでしょうけど。どなたかおっしゃったように、面積の広いのは何人にも下げても、今のところ断トツだろうということで、やはり、人口と財政的な規模、財政規模といっても、現実には歳出そのものが財政規模だというわけじゃないんですが、一応何らかの資料でないと検討できんというので、どの市も全部決算統計から歳出を一応やっただと。岩本委員が言われたように、病院だとか他のものが、他の会計があるわけですね。一応一般会計だけ、なぜかといったら、病院でも水道でも繰り入れするのが全部一般財源を使って入れておきますので、一応一般会計を全部当てはめていったということです。当然、ですから、公益水道だとか病院だとかいうものは入っておりませんし、特会も入ってません。一般会計だけの基準でやりました。そこで、私も極端に下げるのがいいとは申しませんが、少なくとも15ないし16、いわゆる県下でも、まあまあ中より以下というところ辺が、妥当じゃなかろうかと。別にトップになる必要もないし、あれですが、また、何年か後にこうした後の人達が議論をされるだろうと思うんですね。私にこれつくるときに見ながら考えてたのは、15から16ぐらいかなというような気がしました。他市のところも、今市民の皆さんからすれば、議員の定数が多いという声はどうしてもあるわけですから、削減を追随されてくるんじゃないかという気がします。

以上です。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございます。私の意見なんですが、私も当然

定数は下げるべきだと、個人的な意見ですよ、本日個人的な意見をお伺いしてありますので。下げるべきだと思っております。前回、定数下げた時の資料ここにあるんですけど、前回の時も人口、面積、財政規模で皆さん議論していただきまして、いろんな意見出まして、その中で結論というわけじゃないですけど、19になったいきさつというのは、人口2,000人として当時が2万9,000いくらかですかね。今8,000ですかね。2,000として割って、14から15、それに今面積的に財政的にいろいろ考えて、18から19という答申をされたと思います。そこで、議長の19ということでそれが決定したと私は理解しております。今回人口も2万6,000とすれば13ですかね。それに、面積等をいろいろ加算して16なのか17なのか15なのか、それはまた、皆さんとここで、いろいろな意見交換しながら決めていければいいと思っております。本日オブザーバーで議長と委員長出席されておられますが、個人的な意見で結構なので、一言ずつお願いできればと思います。委員長、済みません、お願いします。

○委員長（荒山光広君） 今それぞれの委員の皆さんが言われたようなことだろうというふうに思います。定数について、今県内の表もありますけれど、特に長門市さん光市さんはよく比べられるところがございますけれども、その辺を参考にしながら、住民の皆さんの理解が得られるような、定数にもっていったらというふうに思いますし、せっかくこういった場がございますので、いろんな方面から見て、適正な定数ということで議論を深めていただきたいというふうに思います。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございます。皆さんから今一言ずつ御意見伺いましたが、ほかに何か御意見ございましたらお願いいたします。

〔発言する者あり〕

○座長（下井克己君） 本日の意見、資料を基に当然、各会派に持ち帰りになられまして、まとめていただければと思いますし、本日は有善会の俵委員、ちょっと欠席しておりますけれども、傍聴のほうに会の方もおられますし、私からも説明したいと思います。

また、市民の方の声もこれ大変重要になってまいりますので、その辺も会派のほうで集められて、議論していただければと思います。その意見を、次回の分科会のほうで提出していただければと思います。

なお、この分科会は意見を取りまとめて、委員会のほうへ提出するわけですが、選



挙が再来年の4月でございます。それで、スムーズにいかすためには、来年の3月定例ぐらいに委員会としての意見をまとめていただければと考えております。はい、竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 今後の取り組みについての投げかけに対して、私申し上げたように、それぞれ、皆さん地区に帰られて、住民の皆さんの意見、もう一つは議長にちょっとお聞きしたら、12月に議会報告会があるということですので、できたらその席でも一応参考までに、住民の皆さんがどういうお考えかを一応、そういう点も一つあって、12月議会中にまた議論をしたらどうかなと思います。

○座長（下井克己君） はい、ありがとうございました。それでは、本日ちょっと短いかもしれませんでしたが、これから、皆さんお持ち帰りになりまして、会派なり市民の方々の声を取りまとめ、先ほど竹岡委員も申されましたように、12月の議会報告会でも市民の方々の声を聞きたいと思います。それでは、本日これにて散会いたします。お疲れ様でした。

午前10時27分 閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成26年 9月10日

議会改革推進特別委員長

荒山光広

議会改革推進特別委員会分科会座長

下井克己